

まつだいら ゆういちろう

松平雄一郎

文京区議会議員 自由民主党・無所属 文京区議団

活動レポート vol.2

ともに区民と。



新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルスの感染拡大防止に関して、区民の皆様には様々なご理解とご協力を頂いている事に、心から感謝申し上げます。各種補助金や支援策などの最新情報は、文京区ホームページにて随時更新しております。また現在、ワクチン接種を迅速かつ適切に行えるよう、国や都と連携して準備を進めています。詳細決まり次第、順次お知らせします。

文京区 検索



文京区新型コロナウイルス ワクチン接種コールセンター 03-6747-4593 午前9時～午後6時(平日・土日祝)



松平雄一郎は住みやすく、安心・安全で、災害に強いまちづくりを進めていきます。

日頃から文京区政にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

コロナウイルスの感染拡大が収まらず、厳しい状況におかれている区民の方も、多くいらっしゃるかと思います。

皆さまの生活に安心が取り戻せるよう、未来の日本を支える働く世代として、精一杯働いて参ります。

ともにこの危機を乗り越えてまいりましょう。

引き続きのご支援、ご指導の程、何卒宜しくお願いいたします。

文京区議会議員 松平雄一郎

あの再開発の話は、進んでいる？

① 後楽2丁目まちづくりについて

後楽2丁目の地区では、都道放射 25 号線と2つのビルがすでに完成しましたが、地区計画には入っているものの、まだ再開発に着手できていないエリアが残っています。狭い道が残っていて、木造の建物が密集している場所もあります。例えばこういった地域に火事起きた時、救急車や消防車などは通れず、また延焼の被害も大きくなってしまいます。また神田川に近いので、大型台風等に備えた、風水害への強化、災害に強いまちづくりを進めていかなければなりません。



将来イメージ 後楽2丁目地区全体での賑わい形成と防災対応力の強化

飯田橋駅に近い「文京区の玄関口」としての立地を生かし、飯田橋や小石川後楽園・東京ドーム周辺からの人の流れをつくります。そして、地震や水害への防災力を強化し、活力と賑わいのある、快適な複合市街地を目指します。

令和元年12月に「後楽2丁目地区まちづくり整備指針」の地元案が後楽2丁目街づくり連絡協議会から文京区へ提出されました。それを受けて、文京区では今年7月の策定を目指し、まちづくり整備指針の改定に向けた準備を始めています。私が所属している建設委員会や、文京区都市計画審議会においても議論が深まっています。

コロナ感染拡大の影響が、今後のまちづくりに影響を及ぼすことは間違いありませんが、より良い形で前に進んでいくために、住民の皆さまとの対話をこれからも行い、行政・開発事業者との連携を今後もしっかりと行ってまいります。



令和元年12月 まちづくり整備指針(地元案)提出

令和2年6月 文京区議会 建設委員会 報告

令和2年11月 文京区都市計画審議会 報告

令和2年12月 住民との意見交換会(区主催)

令和3年3月 住民説明会・アンケート実施(区主催)
まちづくり整備指針(素案)建設委員会報告

令和3年5月 住民説明会(予定)(区主催)

令和3年7月 まちづくり整備指針 策定(予定)

古くなった歩道橋、バリアフリーできる？

② 飯田橋駅周辺の整備について

飯田橋駅周辺は、多く鉄道路線・車・自転車・歩行者が利用し、交差する交通の要衝ですが、大変混雑していて分かりにくく、また歩道橋の老朽化やバリアフリー化されていない点など、多くの課題を抱えています。さらに文京区後楽2丁目をはじめ、周辺の地域においてまちづくりの議論が進められている状況を踏まえ、令和元年11月より東京都、周辺3区、JR東日本、東京メトロなどが参加し、検討会が立ち上がり議論されています。

また、令和3年度からエレベーター設置に向けた調査も始まります。これからも議論の方向性をしっかり注視して参ります。



飯田橋駅周辺基盤整備のポイント

- ① 駅とまちのつながり強化。
- ② スムーズに歩ける地下通路と歩道橋の整備。
- ③ バリアフリー化の実現。エレベーターの整備。
- ④ ゆとりある空間の創出。

税務署と幼稚園が一つに？

3 小石川地方合同庁舎の計画について

後楽公園少年野球場のすぐ近くに、閉館した旧労働会館の建物が未だ残っています。ここは、国と文京区が相互に連携し、様々な行政機関を集約させ、新しい合同庁舎の建築が計画されています。ここには老朽化している小石川税務署や、区の清掃事務所、区立後楽幼稚園(認定こども園)、自衛隊の出張所などが一体的に整備され合築される予定です。昨年10月に住民説明会も開催され、これから解体工事も始まります。新庁舎の完成は令和7年11月を予定しています。工期が遅れず、利便性のよい施設となるよう、工事の完成までしっかりと注視して参ります。



小石川地方合同庁舎(仮称)建築計画



◀令和二年9月定例議会
代表質問はこちらから

<http://ymatsudaira.com/assembly.html>



▲文京区水害ハザードマップより引用(総雨量690mm・最大153mm/hを想定)

「災害が起きたらまず避難所へ!」はダメ?

4 分散避難について

コロナ感染拡大の影響で、地震や豪雨など自然災害との「複合災害」への備えが必要となりました。避難所は、自宅が被害を受けた方や、被害を受けるおそれのある方に避難していただく場所です。災害時の避難所は密になり、また環境の変化などで体調を崩す人も出てくるため、感染症が蔓延するリスクも高まります。災害が起きたらまず避難所へ向かうのではなく、**自宅での生活が継続できる状況であれば、「在宅避難」をしましょう。**また、近くに親戚やお友達の家がある場合には、そこに避難することも検討して、「分散避難」にご協力をお願いします。食料や水など必要なものを日常から備え、可能な限り在宅で避難できる準備を整えておくことが大切です。

しかし、災害時に「何が何でも在宅で頑張る」ということでは当然ありません。特に崖の近くや、神田川近くの一階に居住する方が、避難指示が出ているにも関わらず、その



視察

神田川・環状七号線 地下調節池

戦後の急激な都市開発のため、森林が減り、雨水の保水機能が低下したため、都心部での浸水被害は大きな課題となっていました。平成20年にこの調節池が完成して以来、文京区の後楽・水道・関口の地域の神田川氾濫被害の軽減に大きな効果を発揮しています。しかし、貯水量の9割を超えるほどの豪雨は、今でも数年に一度起こっており、被害の可能性が完全に無くなった訳ではないという事を改めて認識しました。今後、調節池はさらに北側へ延伸・連結をし、貯水量の増加を予定しています。



場に居続けようとすることは大変危険です。各家庭・個人のお住まいの状況によって、避難の仕方は異なります。どういう避難行動をとったらいいか、是非ご自身やご家族・ご近所の方と考えてみてください。

急な大雨の時、近くの建物に逃げられます!

5 都内初! 垂直避難場所ができました

神田川の氾濫を想定し、マンションなどの建物の階段を上って、上の階に一時的に避難できる「垂直避難場所」が設置されました。高齢者の方など、家から離れた避難所へ移動する危険性を減らすことができます。住民、行政、警視庁が協力し、今後も場所を増やす取り組みをしていきます。



コロナは長年の課題を解決できるチャンス!?

6 最後に

コロナ感染拡大は、私たちの社会生活や活動などに様々な変化をもたらしました。都心の満員電車やオフィス環境など、都市の過密という課題が改めて顕在化し、アフターコロナの時代を見据えた、新しい住まいのあり方、まちづくりの方向性を見出していかなければなりません。コロナの影響で現れた、私たちの意識や行動の変化などの「新たな動き」を、決して後戻りするのではなく「新しい契機」ととらえ、まちづくりや災害時の課題などの積年の問題点を、一気に解決できるチャンスだとも感じます。感染症の対応、災害対応の備え、経済活動の下支えをしっかりと行い、区民の皆さまが安全・安心を感じられるよう、区議会議員としての責務を果たしてまいります。ともに素晴らしい文京区をつくっていきましょう!



コロナ助成金・協力金などに関するご相談、何でもお伺い致します。お気軽にご連絡ください。



41歳

文京区議会議員

松平 雄一郎 まつだいら ゆういちろう

会派 自由民主党・無所属 文京区議団

所属 建設委員会 委員

災害対策調査特別委員会 委員

令和三年度 予算委員会 副委員長

党 自由民主党東京支部連合会 青年部

自由民主党文京支部 青年部

プロフィール

- 昭和54年7月東京生まれ
- 都立新宿高校 卒業、成蹊大学 経済学部 卒業
- 音楽レコード会社、環境コンサルティング会社勤務を経て、辻清人事務所へ入所。衆議院議員 辻清人秘書を5年間勤める(文京区担当)
- 家族は妻と娘2人(10歳と6歳)
- TOKYO 自民政経塾 卒業生
- 文京区後楽町会 役員 渉外・広報担当

松平雄一郎公式サイト
<http://ymatsudaira.com/>

